

# 浜松学芸中学高等学校

(様式 4-2 : 2019 年度 モビリティ・マネジメント教育 (交通環境学習) にかかわる学校支援制度

実施結果報告書)

## 実施結果報告書

1. 学習名称：天竜浜名湖鉄道沿線の魅力発信活動					
2. テーマ：天浜線勝手に応援団 (沿線の魅力発信プロジェクト)					
3. 実施教科：探究活動 (課外活動)					
4. 関連単元：地理 B (交通通信・商業観光)					
5. 実施単元数：1 単位 (課外活動として週末など毎週活動)					
6. 学年	高 1～2	7. クラス数	1	8. 生徒数	26 名
9. 実施内容 (1) 沿線のフィールドワークによる魅力発信活動 (カレンダーとフォトブック制作) 本校社会科学部地域調査班では、地域の魅力発信のため様々な活動に取り組んでいます。その中で、浜松市北部を走る天竜浜名湖鉄道沿線 (以下、天浜線) の PR を 4 年ほど前から進めており、本年度は継続して生徒と全線域で魅力の再発見に取り組みました。活動を通して、天浜線沿線に残る景観や鉄道資産は日本の原風景と言え、もっと広くこの魅力を PR するべきだと考えるようになりました。そのために、魅力発信活動として全駅でのポスター制作に取り組み、沿線の魅力発信とともに生徒達の郷土愛の育成に繋がったと確信できました。 生徒と共に活動のポリシーを以下のように決めました。 ①知っている場所から行ってみたいくなる場所への変化を促す ②中高生には共感を、大人にはどこか懐かしさを感じる青春を演出する ③いつか戻ってきたいと思える沿線の魅力を発信する ④地元企業と協働する 以上の 4 点を定め、部員全員で共有し活動がぶれ無いように配慮をしました。フィールドワークを通じて共感できた日本の原風景に、誰もが経験する高校生の恋愛や友情という青春を重ねることで、沿線のノスタルジックな雰囲気をもっと強調しようと考えました。近年の高校生は SNS など写真で撮ることになっており、こうしたイメージを沿線 (本実践では全駅) で撮影しました。制作したポスターは順次、公式Instagramや公式 Youtube チャンネルで公開して行く予定です。 半年に及ぶ沿線のフィールドワークを通じて撮影したデータを、より多くの人たちにアピールしたり地域に還元したりするため、卓上カレンダーとフォトブックとして制作					

しました。また制作風景は、SBS テレビ「イブアイ」の番組内で 10 分程度の特集として放送されました。

※添付成果物：カレンダー・フォトブック・別途 ROM 内ポスターデータおよび活動写真

(2) 魅力発信活動を活かしたインバウンド向け観光 PR（観光甲子園 2019）

沿線のフィールドワークを続ける中で、より沿線の景観の魅力を発信したいと考えるようになりました。そこで、本年度は「2019 全国高等学校グローバル観光コンテスト」（観光甲子園 2019）に向けて、沿線の魅力を活かした観光プランと動画の制作に取り組みました。

特別な観光地やプランを構築するのではなく、普段の活動の中で積み重ねてきた景観の魅力を発信しよう取り組みました。特に、田園風景や自然の景観に興味を持つ欧米からのリピーター客に焦点をあて、国内でも表面化しているオーバーツーリズムの問題に対して、観光客を地方に分散させる手段としてアンダーツーリズムを提案しそのモデル事例として天浜線沿線を活用しました。移動手段としては、本数が少ない単線で 1 両編成というハンディキャップをあえて人を集中させないシステムと捉えることで、過度な観光客の集中による観光公害を防ぐことができると考えました。同時に制作したコンテスト用動画も、直前まで沿線を巡る観光 PR 要素の強い作品づくりをしていましたが、自分たちで定めた活動ポリシーに立ち戻り普段の撮影で撮りためていたデータに急遽差し替えました。これは、自分たちが沿線のフィールドワークを重ねる中で、鉄道のある日本の原風景の価値に気づき、当たり前前の日常が大きな価値を持つと考えることができるようになったためであると実感できました。

こうした特別ではない沿線の日常風景を PR した動画は、観光甲子園 2019 でも高い評価を受け、全国 1 位となるグランプリを獲得することができました。この活動により、インバウンドに対してローカル鉄道の観光資源としての可能性を高くアピールできたとともに、生徒にとって地元への誇りを形成することができたと感じました。またこの結果は時事通信社を通じて全国で報道されたり様々な媒体に取り上げられたりし、2 月には静岡県知事への表敬訪問を行うことができました。さらに、本プロジェクトを担当したリーダーの生徒は進学してもローカル鉄道を活用した観光政策について学びたいと考えるようになり、将来的なキャリア形成の場にもなりました。

※成果添付物：ROM 内プレゼンデータ・発表動画・制作ポスターデータ・活動写真

## 10. 学習のながれ：

### (1) 沿線のフィールドワークによる魅力発信活動（カレンダーとフォトブック制作）

①事前学習	これまでの先輩が活動の中で制作したポスターの分析や、天浜線の駅舎や沿線について事前学習を行った。
②フィールドワーク	生徒と共に天浜線各駅や沿線地域のフィールドワークを実施した。課外活動ということで週末の自由参加となったが、撮影のイメージを作るためじっくり取り組ませた。この時に、サンプルとしてロケハン撮影も実施した。
③撮影活動	フィールドワークとロケハン撮影の情報をもとに、週末や放課後の時間を使って、撮影活動を行った。1つの作品撮影にじっくりと取り組むため、1日に6駅程度の撮影を行い、年間で6回程度の撮影を実施した。また撮影に際しては、卒業生がポーズ指示や撮影補助の手伝いに参加した。
④編集	活動ポリシーに基づいて、写真の選定や掲載する言葉を考える作業を行った。様々な媒体のポスターや過去に制作したポスターの事前分析を反映し、生徒達がポスターに掲載する内容を分担して編集作業を行った。その際に、カレンダーに使用する写真を選定するなど、編集会議を複数回重ねた。
⑤制作	画像加工ソフトを使用し、カレンダーとポスター用データを作成した。ポスター（A1判）とカレンダー（A5判）ではサイズが異なるため、文字やロゴサイズだけでなく文字の配置を変更するなど、クオリティの向上に取り組んだ。
⑥作業の振り返り	制作したカレンダーやポスターは、実際に掲示したり使用したりして、次年度制作に向けてのフィードバックを行った。また、活動を通して沿線地域への理解がどのように深まったのか、活動の振り返りを行った。

(2) 魅力発信活動を活かしたインバウンド向け観光 PR (観光甲子園 2019)

①事前学習	観光学についての専門書籍や観光統計を用いて事前学習を行った。交通の発達が観光に与えた影響について、考察を行った。またオーバーツーリズムの問題について関心を持ち、事例学習を行った。
②フィールドワーク	事前学習で見つけた問題やアイデアについて、フィールドワークを行い考察を深めた。実際に乗車して移動したり、駅からの移動を検証したりするなど、プランニングに必要な情報の収集に努めた。
③アイデア構築	事前学習とフィールドワークの結果を基に、天浜線および沿線の観光プランを構築した。その際、単に沿線の PR を行うのではなく、オーバーツーリズムなど日本や世界を取り巻く観光の諸問題に配慮するよう心がけた。
④撮影活動	アイデアの構築で定めたテーマを元に、動画のストーリーボードや絵コンテを作成し、動画と静止画の撮影を行った。天候やシチュエーションなど季節や時間を考え、何度も納得いくまで撮影活動を行った。
⑤パワーポイント作成	事前学習で分析した統計や構築したアイデア、撮影したデータをもとに、全国大会発表用のデータを作成した。撮影したデータをふんだんに使い、イメージが伝わるように配慮した。
⑥動画編集	作成した絵コンテを元に、撮影した動画編集を行った。当初は絵コンテに沿って制作していたが、完成した動画に納得できず、再編集する事になった。こうしたこだわりが、完成度を高める事に繋がった。また動画には外国人観光客への PR を想定し、英語科教員の指導で英語字幕をつけたり、音楽科教員のサポートによるオリジナル音源を作成したりするなど、教科横断的な取り組みに発展した。
⑦大会発表	作成した発表データと動画を使用し、観光甲子園 2019 の全国大会に挑戦した。直前まで発表内容や見せ方を練習した結果、全国 1 位となるグランプリを獲得した。
⑧次年度への振り返り	取り組んだ内容の評価を参考に、次年度に向けどのような視点を持つべきか、また動画制作のノウハウを後輩たちにいかに受け継いでいくか、事後学習を行った。

<観光甲子園の教科横断的な取り組み事例>

2019年度の実践カレンダー ESDの観点

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
英語							英語字幕作成			プレゼン練習		
数学		観光統計処理 理論の裏付け							データ作成			
国語			エントリ 一書類				動画テ キスト	決勝資 料作成		プレゼン練習		
情報	情報収集		エントリ 一書類	動画編集					データ作成			
美術				動画撮影								
地歴	情報収集			撮影地選考								
探究	フィールドワーク		エントリ 一書類	撮影プラン			決勝資料制作		プレゼン作成	プレゼン練習	結果振り返り	次年度勉強会

※学習で使用した教材やワークシート、学習風景を撮影したビデオや写真、指導計画書などを添付して提出してください。